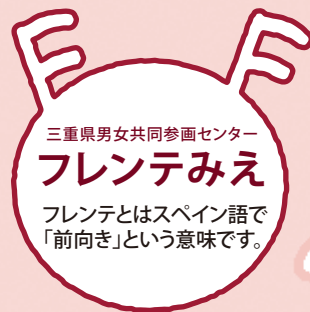


Frente



2024.2

vol.96

特集

- エッセイ
山崎ナオコーラさん(作家・エッセイスト)
「わからないままでページをめくる」
第4回「お母さん」や「奥さん」と呼ばれる

特別コラム

- フレンテみえ所長 荻原くるみ
「私と男女共同参画」

事業案内

- 令和6年度ファンファーレ事業
緒方恵美講演会
声優 一オンナとかオトコとかって、
境界線に立って考えてみた

事業報告

- 女性に対する暴力防止セミナー
「暴力を目撃した時にできること」
- 総文パープル・ライトアップ2023
- 女性はもっと怒っていい!
～女性の怒りは社会の課題～
- わたしも地域も もっとよくなる!
～マインドチェンジ!
やってみたい、わたしができるコト～

知らない世界をのぞき見る

特集!

ジェンダー平等が上位ランクの北欧は
こんなに進んでいる!

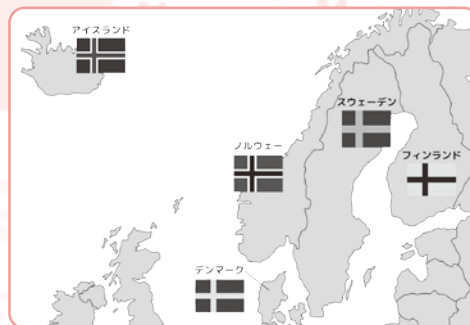


北欧

ジェンダー平等が上位ランクの はこんなに進んでいる!

2023年の日本のジェンダーギャップ指数は146か国中125位でした。毎年発表されるこの指数は男女格差を数値化してランキングにしたもの。日本の順位はずっと低迷中で、2023年のこの順位は、なんと過去最低を記録しました。“ジェンダー平等”をめざすための制度や政策は日本でも少しずつ整ってきている印象がありますが、実は、他国との差は開くばかりなのです。

でも、どの国も、昔は今よりずっとジェンダーギャップがありました。国民の努力によってさまざまな権利を勝ち取り、少しずつギャップを埋めていった結果として、今があるのです。日本の私たちが“できない理由”を探しつづけるのは、そろそろやめにしませんか？お手本にしたい、ジェンダーギャップ指数上位の北欧諸国の事例を見てみましょう。



政治に性別も年齢も関係ない！(アイスランド・フィンランド)

クオータ制*発祥の地でもあるノルウェーをはじめ、政治への女性参加率が高いのもはや当たりまえ！

アイスランドで、世界初の民主的に選出された女性大統領ヴィグディス・フィンボガドッティルが誕生してから、北欧では多くの女性首相が誕生しています。(現職の女性首相:アイスランド、デンマーク)

その中でも、衝撃を受けたのがフィンランドのマリン政権(2019-2023)。なんとマリン氏は34歳という若さで首相になったのです。さらに驚くべきことは、マリン政権で連立していた5つの党の党首が全員女性で、首相を含む4人が34歳以下だったのです。若い女性でも国のリーダーシップをとれるという事を示しました。「女性だから」「若いから」という理由で政治参加を躊躇するというのはアイスランドでは通じないかもしれませんね。

*クオータ制・・・クオータとは“割り当て”という意味。政治では議員数、企業では役員数などで女性が一定になるようにする制度。議員数では現在120か国以上が導入している。

ストライキに首相が参加する??(アイスランド)

アイスランドでは、2018年に世界初となる男女間の賃金格差を違憲とする「同一賃金認証法」が施行されました。

この法律が生まれた背景には、約50年前から繰り返し行われてきた大規模なストライキがあります。1975年10月24日に男女の給与格差や性別の役割分担に抗議し、国の女性の約9割が仕事や家事を放棄しました。職場や家庭の機能がマヒしたことで、女性の存在の大きさを社会に示しました。この大規模ストライキは「女性の休日」と呼ばれ、1985年、2005年、2010年、2016年にも起こっています。

そして、2023年10月24日にアイスランドで7度目のストライキが起きました。そこにはなんと、女性のカトリン・ヤコブスドッティル首相も公務を取りやめてストライキに参加していたそうです。

column

ジェンダーギャップ指数が上がれば、幸福??

ジェンダー平等先進国は「世界幸福度ランキング」も高いことをご存知でしょうか。

幸福度ランキングは、国内総生産(GDP)、主観的な満足度、社会的支援、健康寿命、社会的自由、汚職の無さ・頻度、寛容さを分析してポイント積算。過去3年の平均値で順位を決められています。

何が「幸福」なのかは人それぞれ違うものの、本文中にもある公的サービスなどの選択肢が沢山あること、寛容に受け止め受け入れることが出来る社会では、「幸せだ」と感じることも増えるのでしょうね。ジェンダー平等が進めば、結果的にそこに住む人たちの「幸せ」も増えていく。日本の幸福度は47位(G7中最下位)ジェンダー平等と共に上位ランクを目指していきたいですね。

ジェンダーギャップ指数2023

1位	アイスランド
2位	ノルウェー
3位	フィンランド
5位	スウェーデン
14位	デンマーク
⋮	⋮
125位	日本

Global Gender Gap Report 2023

世界幸福度ランキング2023

1位	フィンランド
2位	デンマーク
3位	アイスランド
6位	スウェーデン
7位	ノルウェー
⋮	⋮
47位	日本

World Happiness Report 2023

性教育は必須科目！（スウェーデン）

スウェーデンには、12～25歳くらいまでの若者が性に関する悩みを無料で気軽に相談することが出来る「ユースクリニック」という施設があります。スウェーデン各地に250カ所あり、性に関する相談やカウンセリング、避妊具の提供などに加え、アルコールやDV、摂食障害など性に直接関係しない相談にも対応しています。

また、北欧は性教育が進んでいると言われており、スウェーデンやフィンランドでは性教育が必修となっています。性教育が必修となったことで、人工妊娠中絶や性感染症が減少したというデータがあります。正しい知識を得ることが自分を守ることに繋がっているのですね。

パパ育休をとらなければ損をする！？（スウェーデン）

子育てがしやすい国ランキングでも上位を占める北欧。2023年のランキングで1位に輝いたスウェーデンの育休事情を見てみましょう。1974年に世界で初めて男性も取得できる育休制度を導入しました。しかし、しばらくは男性の育休取得は広がりませんでした。そこで政府が導入したのが「パパ・クォータ制」。

スウェーデンでは、育児休暇（両親）が480日間。そのうち90日間で父親が取得するというものです。この期間、父親が育休を取得しないと、給付金を受け取る権利を失います。つまり、育休を取らないと損をしてしまうという仕組みです。

この「パパ・クォータ制」はスウェーデンだけでなく、北欧各国で導入されています。

安心して産み育てられる国（フィンランド）

ネウボラ

ネウボラとは、フィンランド語で「アドバイスの場」という意味。妊娠期から就学前まで、1家族に1人保険師が継続して無償で検診や相談ができる制度です。ネウボラはどの自治体にもあり、母親や生まれてくる子どものサポートだけでなく、家族全体の心身の健康サポートも目的としており、利用率はほぼ100%だそうです。

育児支援パッケージ

子どもが生まれると政府から「育児支援パッケージ」が無料で贈られます。内容は、ジェンダー・環境に配慮したベビーケアアイテムやベビー服、親が使用するアイテムなど約40点。さらに育児パッケージの箱は、ただの箱ではなく赤ちゃんのベッドとしても利用でき、箱のサイズに合わせたマットレスや布団まで用意されています。

ネウボラと育児支援パッケージのおかげもあり、フィンランドの妊産婦と乳幼児の死亡率は非常に低くなっています。

column

北欧流の幸せの秘訣

冬は16時頃には真っ暗になる北欧。曇った鬱々した日も多い。そんな環境を受け入れ「生活を楽しむ」そんな文化が北欧にはあります。年度末の忙しい時期、北欧の生活の仕方を取り入れて、スピードを自分の意識でちょっとゆるめて「心地よさ」を味わい、暮らしのなげない一瞬を楽しむ心の余裕をもってみるのもいいかもしれませんね。

デンマーク 「ヒュッゲ」

「心地よさ」を表す言葉。心地よい時間を大切にしようという概念。たとえば「素の自分でいれる時間」「愛着のあるものを大切にしている時間」「無理をしない時間」、デンマークの人々はそんなほっこり出来る時間を大切にしています。1日30分その時間を作ることでリラックス。自分の「ヒュッゲ」が大切だからこそ相手の「ヒュッゲ」も尊重するのも当たり前。

スウェーデン 「フィーカ」

スウェーデンでは「フィーカ」と呼ばれるコーヒータイムをととても大切にしています。職場でも15分程度のフィーカタイムがありコーヒーを飲みながら一休みすることでリラックス。仕事の効率が上がり、休憩時間のおしゃべりで職場の人の価値観を知り、よりよい人間関係が築けることも。もちろん、1人でも、外に出かけてもOKで、ここも寛容。

女性に対する暴力防止セミナー

「暴力を目撃した時にできること」—傍観者でないために—

開催日

11月26日
日

今年度の女性に対する暴力防止セミナーは、DVを目撃した時にただ見ているだけの傍観者ではなく、その場でできることは何かについて、講師の福田由紀子さんの講演と、DVの事例をもとにしたワークショップを通じて考えていきました。

人は暴力を目撃しても何もできない心理状態になること、ただそれは被害者を孤立させてしまうこと、実は暴力の目撃者も被害者と同じように傷つくことを学びました。ワークでは、「その場でお金を落として加害者の気持ちをそらす」「現場で啓発のパンフレットを設置してもらう」「周りの人と怖かった気持ちを共有する」など、暴力を目撃した「その時にできること」「後からできること」についてたくさんのアイデアが出ました。

内閣府「女性に対する暴力をなくす運動」(パープルリボン運動)
総文パープル・ライトアップ2023

開催日

11月9日~11月26日
木 日

「女性に対する暴力をなくす運動」期間(毎年11/12~25)にあわせて、この活動のシンボル「パープルリボン」にちなんだパープル・ライトアップを三重県総合文化センター知識の広場で実施しました。

竹あかりの演出が大好評の川淵皓平さん率いるカナエリアさんによる「そうぶん竹あかり」とのコラボも3年目。今年は竹でつくられた高さ6m以上の大きなパープルリボンが加わりました。

また、期間中に館内2か所で開催のミニイベントを実施しました。ご来場者みなさんに小さなパープルリボンをパネルに貼り付けてもらい、大きなパープルリボンをつくりました。今年は計1,437人にご参加いただき、最終日には高さ1.5mほどの大きなパープルリボンが、6つ完成!多くの方にパープルリボン運動について知り、考えていただく機会となりました。

まだまだ認知度が高いとはいえない「パープルリボン」運動。今、被害をうけている女性に「あなたはひとりじゃない」とのメッセージを込め、暴力で苦しむ人のない社会をめざしてパープルリボン運動を継続していきたいと思えます。

日時 令和5年11月9日(木)~26日(日)17:00~21:00 休館日を除く

会場 三重県総合文化センター知識の広場ほか



女性はもっと怒っていい!

~女性の怒りは社会の課題~

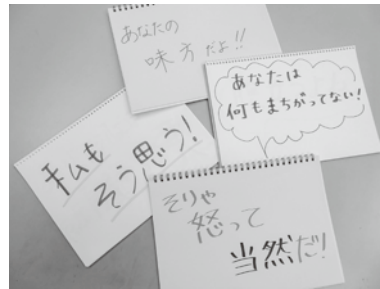
開催日

10月14日・10月28日
土 土

フェミニストカウンセラーの加藤伊都子さんとコミュニティ・オーガナイズング・ジャパンのオーガナイザー、中村果南子さんをお迎えし、女性の怒りと社会の課題について考える講座を開催しました。

1日目は、怒りという感情と女性の怒りが社会を変えてきた歴史について学び、自身の怒りについて整理し、参加者の皆さんの前でプレゼンをしました。他の参加者からの応援や賛同により自身の怒りの感情を肯定できたようでした。

2日目は、ご自身の怒りを社会変革につなげていく手法の一つである、コミュニティ・オーガナイズングについて学びました。『スイミー』の物語を例に挙げ、1人では解決できない問題でもみんなで協力すれば解決できること、自分の思いを語ることで共感してくれる人が現れることについてお話いただきました。



EVENT Report

事業報告

フレンテみえ種まきプロジェクト | “地域”編 尾鷲市・フレンテみえ 連携講座
わたしも地域も もっとよくなる!
～マインドチェンジ! やってみたい、わたしができるコト～

開催日 全3回
8月26日～12月23日
土 土

あなたが感じている「自分もまちも、もっとこうならいいのに」という想いを叶えるために必要な意識や手法を仲間と学ぶ“地域”編。名古屋学院大学准教授でパブリック・ハーツ株式会社代表取締役の水谷香織さんを講師にお招きし、今年度は尾鷲市との連携講座として開催しました。

各回ともレクチャーだけでなく、参加者が「自分ができる!大丈夫!」と自信をつけたり将来のビジョンを描いたりなど、様々なワークも行われました。また各講座日の間には、自治体が設置している協議会の視察や、尾鷲市で実際に夢を実現されている方を訪ねる「フィールドワーク」も開催。夢にかける想いや課題解決のヒントなど様々なお話を直接うかがい、大きな刺激となりました。最終回では各自が思い描く“未来”を「映像化」するワークも実施し、参加者の皆さんも笑顔で楽しみながら、全回を通して非常に充実したプログラムとなりました。

地域の女性の皆さんが元気に“一歩”を踏み出すための応援団として開催している「種まきプロジェクト“地域”編」。もしあなたの“まち”におじゃましたときはぜひ!ご参加お待ちしております!



事業予告

5/11

三重県総合文化センター30周年記念 「フレンテみえ」ファンファーレ事業
緒方恵美 講演会
声優 — オンナとかオトコとって、
境界線に立って考えてみた

三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」、そして、三重県総合文化センターは、今年で30周年を迎えます。この節目を記念して、30年以上「声優」として第一線を走り続ける緒方恵美さんに、ご登壇いただきます。

一昨年、第16回声優アワードで主演女優賞を受賞された緒方さんは、授賞セレモニーの壇上で「女優賞で良いんですか?」と発言をされました。性別にとらわれずに様々なキャラクターを演じるなかで、「自分が女優だと思っていたことがあまりない」という緒方さんならではの問題提起でした。「声優」というお仕事は、実は、性別を飛び越えていけるのかもしれませんが。そんな「声優」を、全身全霊で体現される緒方さんの姿は、とても魅力的です。緒方さんのこれまでのご経験や想い、演じてこられたキャラクターをめぐるエピソードなど、たっぷりとお伺いしながら、「声優」ではない私たちが、性別にも年齢にも縛られずに生きるためのヒントを探してみましよう。



緒方恵美 声優/歌手

1992年『幽☆遊☆白書』蔵馬役で声優デビュー。
主な出演作『エヴァンゲリオン』シリーズ(碇シンジ)、『地縛少年花子くん』(花子くん)、
『ダンガンロンパ』シリーズ(苗木 誠、狛枝 悠斗)、『劇場版 劇場版 呪術廻戦0』(乙骨 憂太)など多数。

参加
無料

日時 5月11日(土)
13:30~15:00

会場 三重県総合文化センター内
三重県文化会館 中ホール

対象 すべての方

定員 500名程度

講師 緒方恵美さん(声優/歌手)

託児 あり 要事前申込
0歳3ヶ月~小学3年生程度
子ども一人につき1,000円
託児申込締切4月27日(土)

受付開始 3月13日(水) 10時00分

2019年4月、三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」所長の辞令を手にし、緊張しながら任務につきました。おりしも、上野千鶴子さんの東大の入学式での祝辞を話される映像や文字が、テレビのワイドショーで流れた年でした。このニュースは、これからの「男女共同参画」「ジェンダー平等」を推進する追い風になることを私は確信しました。

毎朝、新聞記事に目を通し、関連記事を切り抜き、気になる記事や覚えておきたい記事をコピーし手帳に張り付けたりメモしたりしてきました。フレンテみえの特徴的な事業の一つがフレンテトークです。フレンテみえの講座に参加していただくのを待っているだけでは、啓発の輪が広がらない、こちらから出向いて、啓発をするというスタンスの出前講座です。初代の鈴山雅子所長の思いのこもったフレンテトークを引き継ぐと、職員作成の資料を自分流に改変して、ようやく9月にデビューをしました。人の話を「聞く」と、自分が理解して相手に伝えるように「話す」との大きな違いを痛感しました。内閣府発行の男女共同参画白書のデータと、日々の新聞記事の切り抜きが強い味方でした。



出前講座「フレンテトーク」の様子

しかし、2020年からは新型コロナウイルス感染症による患者数の増加や、非常事態宣言により、センター全体の休館まで強いられる時期がありました。ちょうど海外からDV急増のニュースを見て、職員から相談事業を止めるわけにはいけないという意見が出て、非常事態の中でも相談業務は継続しました。その時の職員の責任感と熱意に感服したことを今でも覚えています。

ようやく2023年新型コロナ感染が第5類に分類され、今年度は、過去最大数のフレンテトークの依頼をいただいております。私も三重県の北から南まで、公用車を走らせ出前講座に出向きました。

フレンテみえの所長に私、萩原が着任してから5年。早いもので2024年3月末を持って任期を終えることになりました。そこでこの場をお借りして、この5年間の活動をとらえて今感じること、男女共同参画やジェンダー平等への想いなどをお話したいと思えます。

私と男女共同参画

所長

萩原くるみ

三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」

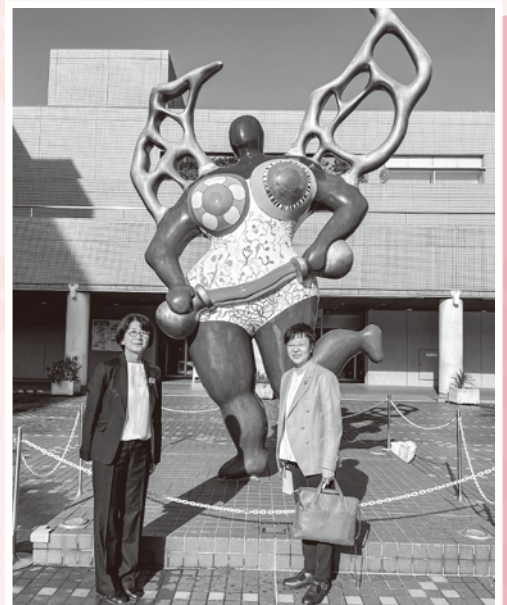


コロナ禍で、フレンテみえはオンライン講座の実施が強みとなりました。職員の地道な努力により、何とか講座を実施できるように、機器の設定、音声の調整を行いました。また、サテライト会場を結んだ講演会や、市町に出向いた講座も実施することができました。また、幼い頃からのアンコンシャスバイアス（無意識の思い込み）を払しょくするための秘策が必要であることを強く感じ、オンライン上でジェンダーに関する問題を解く謎解きゲームの実施や、「みっちときりー」の絵本作成を職員の自前の努力のみで、行うことができました。以前職員として勤務されていた方の御協力もありました。



フレンテみえの絵本「みっちときりー」

そして、県内の男女共同参画を推進する団体の皆さまとの協働体制もフレンテみえの財産です。こうしたことを次の所長にもしっかり引き継いでいきたいと思っています。たくさんの情報や、つながりを得た5年間でした。ありがとうございました。



独立行政法人国立女性教育会館理事長 萩原なつ子さんととの記念写真



今年度一年かけてご覧いただく山崎ナオコーラさんによるエッセイ。今回は最終回です。これまでのエッセイは右の二次元コードからご覧いただけますので、こちらもぜひご覧ください。



第4回 「お母さん」や「奥さん」と呼ばれる

社会の中で「お母さん」と呼ばれることがある。

私は普段、心の中では自分のことを、「お母さん」ではなくて「親」と思っている。妊娠中に、「お母さん」という言葉から、明るい、優しい、家事ができる、コミュニケーションが上手、人と人をつなげる、器が大きい……、といったイメージが湧いて、それが自分のキャラや器と遠いものだから、自分とは違う存在にならないと育児が出来ないような難しさを感じられ、私にはハードルが越えられないと思った。それで、母になろうと頑張るのではなく、ただの親になろう、と考えた。私の場合は、「親」という言葉がしっくりくる。でも、それはあくまでも私の場合だ。

「お母さん」がしっくりくる人もいるに違いない。もちろん、私もそれをわかっている。他の人がご自身のことを「お母さん」という言葉を使って表し、楽しく育児していることを好ましく見ている。なんなら、私のことを「お母さん」と呼ぶことも構わなくて、学校や保育園や病院などで「〇〇ちゃんのお母さん」と呼ばれたら、私は「はい」と返事する。

社会で生きていくと、他人の言語感覚に合わせなければならぬシーンもある。言葉のセンスや、相手から自分がどう見えているかに合わせて会話を進める。

とはいえ、たまに、「おや?」と思う。

先日、財布を落としてしまい、届けを出すために交番へ行った。すると、お巡りさんが私のことを「奥さん」と呼び始めた。「それは、奥さん、ここに名前を書いてください」「奥さんは何時頃にそこへ行ったんですか?」など。こちらとしては、財布を落とした負い目もあるし、仕事をしてもらっている感謝もあるし、従順になるしかないような気がした。「奥さん」と呼ばれるたびに「はい」と返事してペコペコして交番を出た。だが、後になってから「お母さん」ならまだしも「奥さん」はどうなんだろう? と首を傾げた。そのとき、私は幼い子供を二人連れていた。でも、パートナーと一緒にいなかったし、「奥さん」かどうかなんてパッと見でわからないだろう。

もし私がシングルで子育てしていたら「奥さん」呼びをつらく感じたらに違いない。それでも交番だし波風立てないように「はい」と返事しただろう。いや、家族は多様なものだから、幼い子を二人連れていても「お母さん」とは限らない。「お母さん」呼びでも、まったく合っていない可能性もある。

もうひとつ、「おや?」と思うことがある。テレビなどの街歩き番組で、出会った人にマイクを向け、子どもがいるかどうかわからない人に「お母さん」と声がけするインタビュアーを見かける。子連れではないのに、「それなりの年齢の女性っぽい人」という見た目の情報だけで「お母さん」と呼ぶ、そういうシーンが日本のメディアにあふれている。

「お母さん」「奥さん」という言葉を、その人に子どもやパートナーがいるかどうかわからないのに使ってしまうのは、リスクではないだろうか。



山崎ナオコーラ

作家

1978年福岡生まれ、埼玉育ち。國學院大學文学部日本文学専攻卒業。2004年から小説やエッセイの発表を始める。最新刊は、現代のジェンダーや社会規範と照らし合わせて源氏物語を読むエッセイ『ミライの源氏物語』(淡交社)。目標は、「誰にでもわかる言葉で、誰にも書けない文章を書きたい」。



第4回

フレンテスタッフコラム 4回シリーズ
 “女性と政治”についての気になるあれこれ

「向いてない」感について、ふと思うこと

もしあなたが30代の働く女性だったとして、長く勤めている会社の上司から「ぜひ次の課長に」と声をかけられたら、どうしますか？周りの同僚たちからも薦められていたとしたら、どうですか？

嬉しくて、さらに力を発揮できそうな環境に超前向きな気持ちになるかもしれませんが、でももし、毎日とても忙しい職場だったり自身が育児中だったりしたら、どうでしょう。管理職の重い責任や家庭との両立に、後ろ向きになるかもしれません。そうでなくても、声がかかった瞬間から「自分にはムリ～。向いてないし、そんな力も資格もないです」と全力で“遠慮”される方もいらっしゃるでしょう。

確かな実績があるのに自分の実力を認められずネガティブな感覚から抜け出せない。うまくいっても偶然や周りの人のおかげだと思っ自分信じられない。そのような心理傾向は「インポスター症候群」とも呼ばれるアンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）のひとつで、特に女性に多いとも言われています。女性は目立たず控えめに、周りと同調しリーダーになるよりケア役割をと求め続けられることで知らないうちに培われてしまうこの“気質”。私たちはこれまで、どれだけの豊かな個性を、能力を、この思い込みにより埋もれさせてきたのでしょうか。

もちろん必要な遠慮もあると思います。ただ、「役」は、引き受ける側だけでなく薦める側、決める側にも覚悟が必要。責任も伴いますから、ダメだこりゃ、という相手には怖くて声をかけられません。つまり、声がかかった人は、その時点で既に相応しい人財であるということ。もちろんその後の成長を見越してということもあるでしょうが、それも含めて、あなたは遠慮などしなくて大丈夫。なのです。

会社だけでなく自治会やPTAなどの地域活動でも趣味のグループでもどこでも、何かの「役」に就くのは勇気が要るもの。議員さ

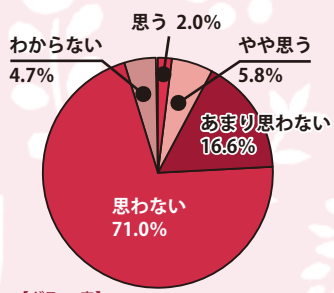
んともなればなおさらです。でも、「役に就く」=だれかの「役に立つ」こと。あなたを必要としている人が必ずいて、そこにパワーを届けるために「役」を使う。と考えれば、少しチカラが湧きませんか。

もしあなたに、なにか“想い”があるのなら。「向いてない」と思う前に、そう“思い込んで”いないかどうか、確かめてみてください。

インポスターは、「詐欺師、偽物」という意味です。波風をたてない“偽物”も処世においては意味があるかもしれませんが、時には自分自身が“本物”の自分に向けて「推薦」の声かけをしてみませんか。なにこども否定するより肯定する方が、世界は広がっていきます。根拠のない遠慮は、100回に1回くらいでよいのでは。

政治も経済も、仕事も家庭も、未来はすべて“人”次第。女性はもちろん男性も、だれもが自分らしく、その想いをどんと咲かせられますように。華々しく。

Q 機会があれば自ら政治家（地方自治体の議員を含む）になりたいと思いますか。



「あまり思わない」「思わない」理由の上位3項目（3つまで複数回答）

自分には向いていないと思うから	56.8%
政治家という職業に興味がないから	34.0%
自分の生活や家庭と両立できる自信がないから	25.0%

【グラフ・表】 『1万人女性意識調査』第2回「女性と政治」より（日本財団／2020年12月／18～69歳の女性）

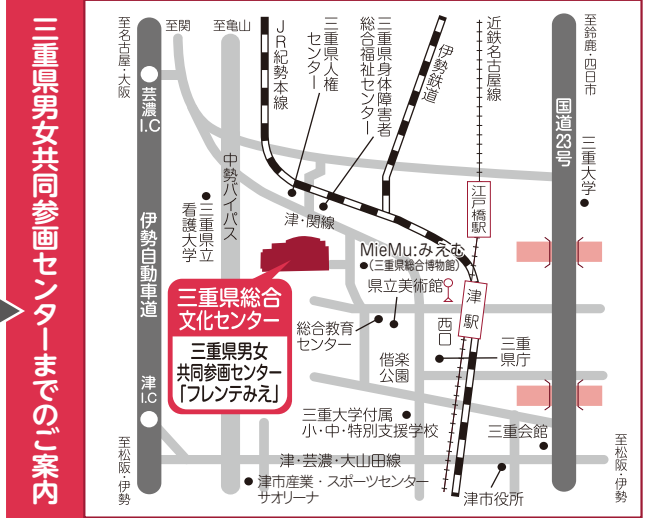
このコーナーでは、「女性と政治」について感じることを、両者の距離を縮めるために必要な意識や知識について、4回にわたってつぶやいてまいりました。お付き合いいただき、ありがとうございました♪

フレンテみえって、なに？

三重県の男女共同参画社会を推進する拠点施設として津市の三重県総合文化センター内に平成6年オープン。情報発信・研修学習・相談・調査研究・参画交流および人材育成の「6本の柱」で、様々な事業を展開しています。ぜひ皆さま、お気軽にお立ち寄りください！

～詳しい情報はホームページまで～

フレンテみえ



休館日 毎週月曜日 年末年始 (12月29日から1月3日まで)
 交通 ■バス/津駅西口1番のりばから約5分
 ■徒歩/津駅西口から約25分
 ■自家用車/伊勢自動車道芸濃インターから約15分、津インターから約10分
 ※駐車場は1400台(無料)。できるだけ公共の交通機関をご利用ください。

発行 三重県総合文化センター
 三重県男女共同参画センター フレンテみえ
 〒514-0061 三重県津市一身田上津部田1234番地
 TEL:059-233-1130 FAX:059-233-1135
 URL https://www.center-mie.or.jp/frente/
 E-mail: frente@center-mie.or.jp

生き方・家族・人間関係・離婚・職場 などなど…
 男女がともに自分らしく生きるために、様々な悩みの相談をお受けします

女性のための電話相談 秘密厳守・相談無料

フレンテみえ相談室 専用ダイヤル 059-233-1133

相談時間	曜日	月	火	水	木	金	土	日
朝 9:00～12:00	休館日	●	●	●	●	●	●	●
昼 13:00～15:30	休館日	●	—	—	●	●	●	●
夜 17:00～19:00	休館日	—	—	●	—	—	—	—

※祝日の場合「朝・昼」相談あり(翌平日が休館日)

フレンテみえ相談室のご案内
 (切り取ってご利用ください)

(by 所長)

再生紙を使用しています。